



Vocal Consort
Tokyo

ヴォーカル コンソート 東京 演奏会

指揮 四野見 和敏

心洗われる魂の響き

ドレスデン室内合唱団のメンバーを迎えて

アレグリ:ミゼレーレ

Gregorio Allegri : Miserere

シュッツ:音楽による葬送

Heinrich Schütz : Musikalische Exequien Op.7 SWV279-281

ヘンデル:主は言われた

Georg Friedrich Händel : Dixit Dominus HWV232

[オーケストラ] VCT バロックオーケストラ



指揮
四野見 和敏



ソプラノ
マリー・ルイーゼ・ヴェルネブルク
Marie Luise Werneburg



テノール
トビアス・メトガー
Tobias Mäthger

Workshop
in Japan
詳細裏面にて

主催:ヴォーカルコンソート東京 後援:公益財団法人日独協会 / (株)ハンナ

2016年 2月24日(水) 19:00 開演 (18:30開場)

聖アンセルモ・カトリック目黒教会

[アクセス] JR山手線:目黒駅西口 徒歩3分

東急目黒線、東京メトロ南北線、都営地下鉄三田線:目黒駅中央口 徒歩約3分

[チケット] 3,000円(チケットぴあ tel:0570-02-9999 Pコード:781990)

[お問い合わせ] TEL:090-3982-4055 E-mail:info@vctokyo.jp

[ホームページ] <http://vctokyo.jp>



Vocal Consort Tokyo

ヴォーカルコンソート東京は、ヨーロッパの室内合唱団を手本とし、その質の高いアンサンブルを目指すプロフェッショナルな合唱団です。2014年2月に結成され、バロックから現代まで幅広いレパートリーを持っています。 <http://www.vctokyo.jp>

I. Homogenität

様々な時代の作品に対応する上で大切なのは、その作品が求める響きや歌唱(発声)法をまずしっかりと押さえることです。その上で私たちは響きのHomogenität(同質性・均質性)と正確な音程と音色の統一に重点をおきます。

II. 全てはテキスト(歌詞)のために

歌詞と音楽(音符)との関係において、音楽は言葉を生かす手段であるべきです。演奏と言う芸術は、歌詞の内容や言葉に宿っているものを音楽の力で引き出し、聴く人に伝える行為だと考えます。歌(メロディー)は単なる言葉の集合体でなく、言葉の有機的なつながりをもった統一体です。私たちは、言葉と遊離した声(音)だけの演奏ではなく、その言葉を取り巻いている全ての音楽的な要素との調和を目指します。

今回の演奏会について

今回、ヴォーカルコンソート東京では、ヨーロッパやドイツのトップクラスの合唱団で活躍している2人の歌手を招聘し、私たちのメンバーの一員として演奏することが実現しました。2人とも優れた歌手であり、ヨーロッパのみならず世界最高峰の合唱団に所属しています。私たちは2人が持っているヨーロッパの響きと豊かな発想で、バロック音楽の表現の深みを探求します。



ソプラノ

マリー ルイーゼ・ヴェルネブルク

Marie Luise Werneburg

ドレスデン出身。プレーメン音楽大学を卒業し、ヨーロッパを代表するドレスデン室内合唱団(ラーデマン指揮)のメンバーとして活躍

している。自然体で明るく澄んだ歌声は多くの人を魅了し、世界トップクラスのRIAS室内合唱団、コレギウム・ヴォカール・ゲント(ヘレヴェッヘ指揮)などへ招聘されている。専門はルネッサンスからバロックで、特にシュッツやバッハを得意としている。



テノール

トビアス・メトガー

Tobias Mäthger

ドレスデン出身。ドイツ合唱界でトップレベルを誇る、ドレスデン室内合唱団とシュトゥツガルト室内合唱団(ベルニウス指揮)の一員で、

ソリストでもある。さらに彼はドレスデン室内合唱団やRIAS室内合唱団を率いている世界的指揮者、ラーデマンのアシスタント指揮者として、深く温かみのハーモニーと生きいきとした音楽の創出に貢献している。シュッツ作品のCD録音ではソリストを務めている。

バロック歌唱のためのワークショップ 受講者募集

バロック音楽の特徴は「語られる音楽」にあります。ワークショップでは素材(言葉)の魅力を引き出し、自分自身の言葉として語る唱法を学びます。その言葉にとって自然な発声とは何か?日本語発声との違いをあえて見つけることで、生きいきと豊かに語れるバロック音楽を目指します。

お申し込みや詳細は当団ホームページやFacebookをご覧ください。メールからもお申込みいただけます。

<http://www.vctokyo.jp> info@vctokyo.jp

バロックの声楽曲のためのワークショップ (公開講座)

2016年2月20日(土)14時~17時

21日(日)13時30分~16時30分

場 所: シャロン ゴスペルチャーチ(池袋)

講 師: マリー ルイーゼ・ヴェルネブルク(ソプラノ)

受講希望者はカンタータ、ミサ、オラトリオ等のアリア、ソロ曲から希望曲を選びレッスンを受けます。発声の基礎やその応用を学習します。

合唱団員、指揮者のためのワークショップ

2016年2月20日(土)・21日(日)両日とも13時~17時

場 所: 目白教育ホール

練習曲 1. シュッツ作曲「Cantate Domino」、その他

2. 来年度全日本合唱コンクール課題曲(混声 G1)

講 師: トビアス・メトガー(テノール・合唱指揮者)

特設合唱団「スーパーバロックコア」に応募して下さい。

言葉の活かし方、フレーズやアンサンブルのポイントなど、バロックの基礎的な唱法を学びます。合唱団員を公募します。

ヨーロッパ合唱音楽の最前線にいる2人から学べるチャンスです。お見逃しなく!

主催: ヴォーカルコンソート東京 協力: (株)パナムジカ 後援: (株)ハンナ



Vocal Consort Tokyo 音楽監督・指揮 四野見 和敏

[ソプラノ] 池田 真紀 石井 朝奈 岡田 愛 金成 佳枝 小松 奈津子 櫻井 愛子
佐藤 悠子 高山 ゆみこ 長尾 良子 Marie Luise Werneburg

[アルト] 岩渕 絵里 古賀 裕子 佐藤 智子 新明 裕子 横町 あゆみ 奥村 泰憲

[テノール] 小沼 俊太郎 沼田 臣矢 堀越 尊雅 Tobias Mäthger

[バス] 阿部 大輔 磯谷 大樹 関 秀俊 堤 智洋 檜崎 誠弘

[オーケストラ] VCTバロックオーケストラ